

# 第29回 全国街路事業コンクール応募資料

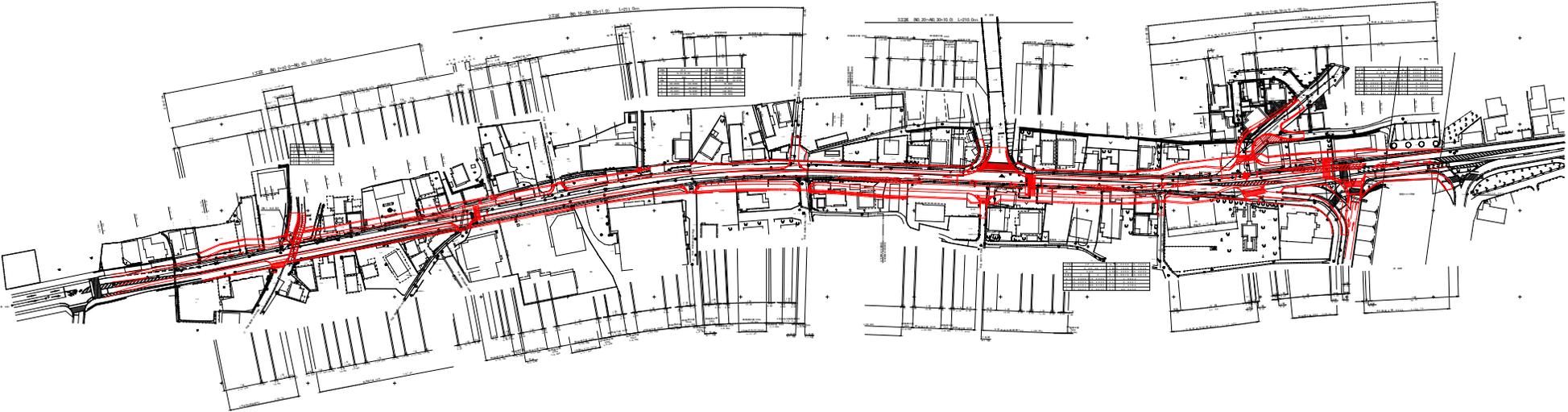
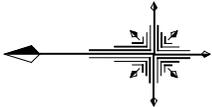
様式1

ふりがな 応募者名		みやざきけん みやざきどぼくじむしょ 宮崎県 宮崎土木事務所
街路事業	ふりがな 事業の名称	ぼうさいあんぜんしゃかいしほんせいびそうごうこうふきん けんどうなかもらきさきせん つわだこうく 防災・安全社会資本整備総合交付金 県道中村木崎線 津和田工区
	ふりがな 事業主体	みやざきけん みやざきどぼくじむしょ 宮崎県 宮崎土木事務所
	ふりがな 実施都市名	みやざきしおおあざほんごうみなみかた 宮崎市大字本郷南方
	事業概要 (400字以内)	
事業規模		<p>○事業延長:779m</p> <p>○事業費:1620百万円</p> <p>○幅員:16~19m</p> <p>○事業期間:平成16年2月~平成27年3月</p>
事業の目的		<p>本路線は、宮崎市南部市街地の幹線道路として位置付けられているが、近年、沿線の団地開発などにより交通混雑が著しくなっている。</p> <p>また、付近には各種学校があり、朝夕の通学生が多いにもかかわらず歩道が整備されていない箇所も多い。</p> <p>その中でも、当区間は、宮崎市南部市街地と宮崎空港を結ぶ重要区間であるから、交通混雑の軽減を図るとともに安全で円滑な交通を確保するため、宮崎県において施工するものである。</p>
事業効果	事業効果項目	・様式2のとおり(該当項目にチェックを付す)
	事業効果の概要	<p>右折レーンを設置したことにより、これまで中心市街地及び宮崎空港へ向かう車両が原因で発生していた交通渋滞や交通事故が減少し、車両の安全性、快適性を向上させることができた。</p> <p>歩道幅員を1.3mから3.5mに拡幅することにより、通勤、通学や買い物時における歩行者や自転車が利用する際の安全性を向上させることができた。</p>
	定量的効果 (検証済の場合記入)	
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との協働等</li> <li>・事業反対等があったか</li> <li>・合意形成等を図ったか</li> <li>・地域に配慮した点</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>地元回覧文による地元住民への周知を行った。</p> <p>商業施設が隣接しているため、施工時期について、地権者と連絡を密に取り合い施工を行った。</p>



全体図(平面図・横断図・縦断図)

平面図 県道中村木崎線



# 事業前写真

事業前写真1 平成24年撮影



事業前写真2 平成24年撮影



事業前写真3 平成24年撮影



事業前写真4 平成17年撮影



# 事業後写真

事業後写真1 平成27年11月撮影



事業後写真2 平成27年11月撮影



事業後写真3 平成27年11月撮影



事業後写真4 平成27年11月撮影



## 中村木崎線の整備効果アピール資料

### ○交通量調査結果

供用前 センサス (H17年度) 供用後 センサス (H27年度)



### 「整備効果」

- ①本工区は、道路沿線に立地している商業施設への乗り入れが非常に多く、歩道幅員が約1.3m程度であったため、慢性的な交通渋滞が発生し、安全性が確保できていなかった。  
今回、歩道拡幅を3.5mに拡幅することにより、通勤や通学時の利用する歩行者や自転車の安全性を向上させることができた。
- ②本路線は通勤の時間帯において、中心市街地及び宮崎空港へアクセスする市道との交差点部で、右折レーンが設置されていないことが要因で交通渋滞や交通事故が発生しており、安全確保など課題があった。  
今回右折レーン設置により、交通渋滞や交通事故が減少し、安全性や快適性、宮崎空港へのアクセスを向上させることができた。

## 事業効果一覧表

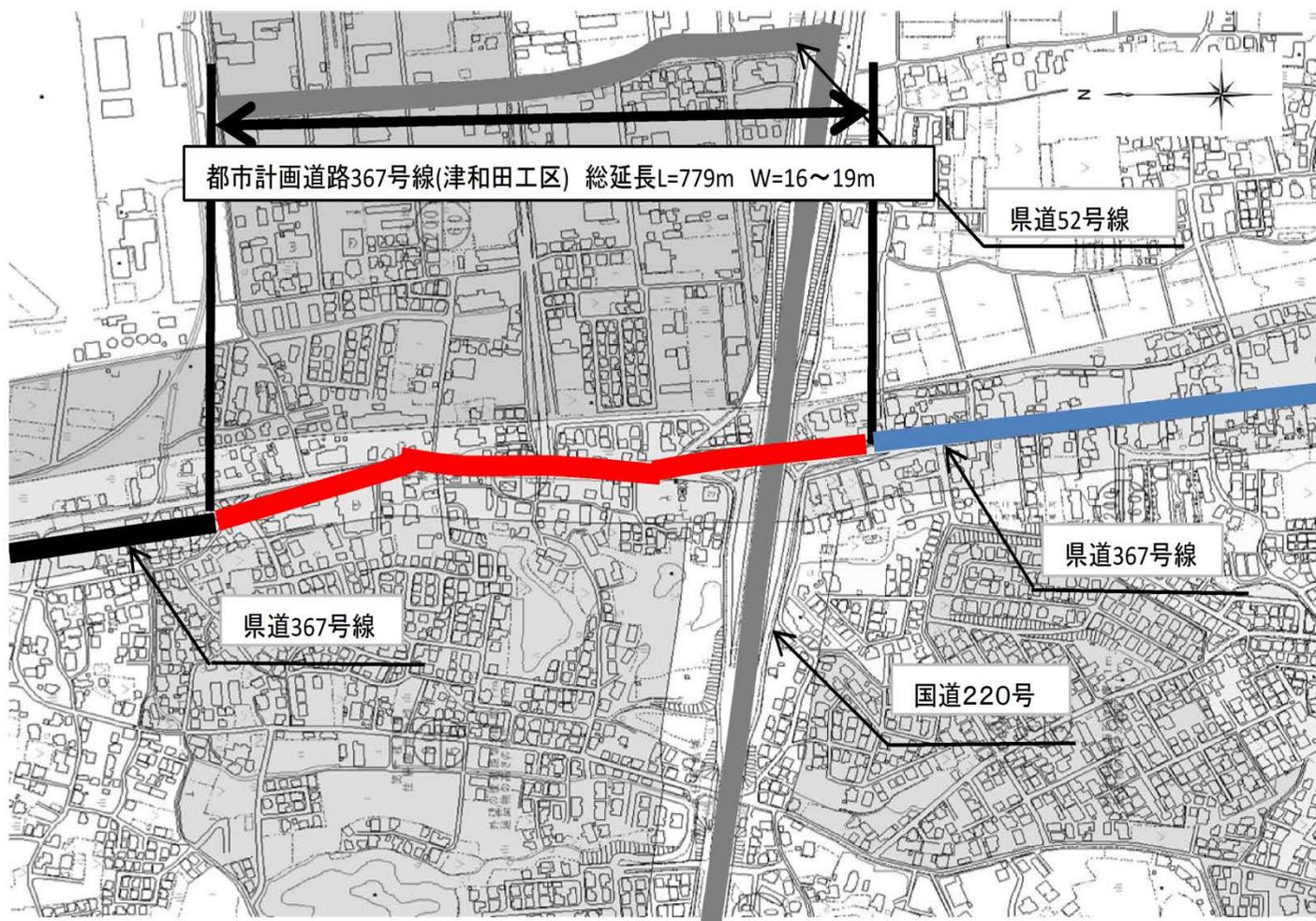
大項目	中項目	小項目	指 標	該当項目
事業 の 効果	円滑な交通	物流を支える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備水準の低い地域の改善に寄与した。</li> <li>・道路ネットワークの形成に寄与した。</li> </ul>	◎
		渋滞のない交通環境を実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通渋滞の緩和・解消に寄与した。</li> </ul>	◎
		公共交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス、鉄道の利便性向上に寄与した。</li> </ul>	○
	安心・安全な生活	安全な道路交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故の防止に寄与した。</li> </ul>	◎
		誰もが通りやすい歩行空間の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。</li> </ul>	◎
		災害に強い安全な市街地、集落の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における安全性の向上と円滑な避難・救援に寄与した。</li> </ul>	△
	まちづくり・地域活性化	都市（地域）連携を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与した。</li> </ul>	◎
		都心の活力を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の活性化に寄与した。</li> </ul>	△
		地域経済の振興を支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市（地域）の経済活動の拡大に寄与した。</li> </ul>	△
	アメニティの向上	沿道環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿道環境の改善や充実に寄与した。</li> </ul>	○
		うるおいのある道路空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の景観に配慮し、良好な道路空間等の創出に寄与した。</li> </ul>	○
		歴史・文化の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史・文化の保全に配慮し、歴史的景観等の創出に寄与した。</li> </ul>	
	事業実施に伴う効果	コスト縮減等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工費節減に工夫を凝らし、実績を上げた。</li> <li>・事業期間の短縮や環境対策などの社会的コスト縮減を図った。</li> </ul>	
事業期間等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初の事業期間を短縮し、前倒しで供用開始した。</li> <li>・短い事業期間で大きな事業効果を発揮した。</li> </ul>		

※当該事業において、最も事業効果が現れたものから重み付けをしてください。

◎効果大 ○効果中 △効果小

# 路線全体の進捗状況

## 都市計画道路367号線(津和田工区)



### 凡例

- 今回応募区間
- 未施工箇所
- 施工済箇所
- 既設道路

